



第6回まち交大賞（総合賞 まち交大賞）受賞

中活 人口定着 交通政策

# とやましちゅうしんしがいち 富山市中心市街地地区 (富山県富山市)

- 計画期間 平成16年度～平成20年度
- 面積 385ha
- 交付対象事業費 5,895百万円
- 市人口 410,214人

**ポイント** 時間消費型のまちづくりによる中心市街地の活性化

**地区概要** グランドプラザや城址公園等の整備により来街者の増加を図るとともに、まちなか居住への支援を行い中心市街地の活性化を図る。

**目標** 中心市街地の活性化  
人口定着、交流機能強化による均衡のとれた地域振興  
交通網の整備改善に伴う地域づくり

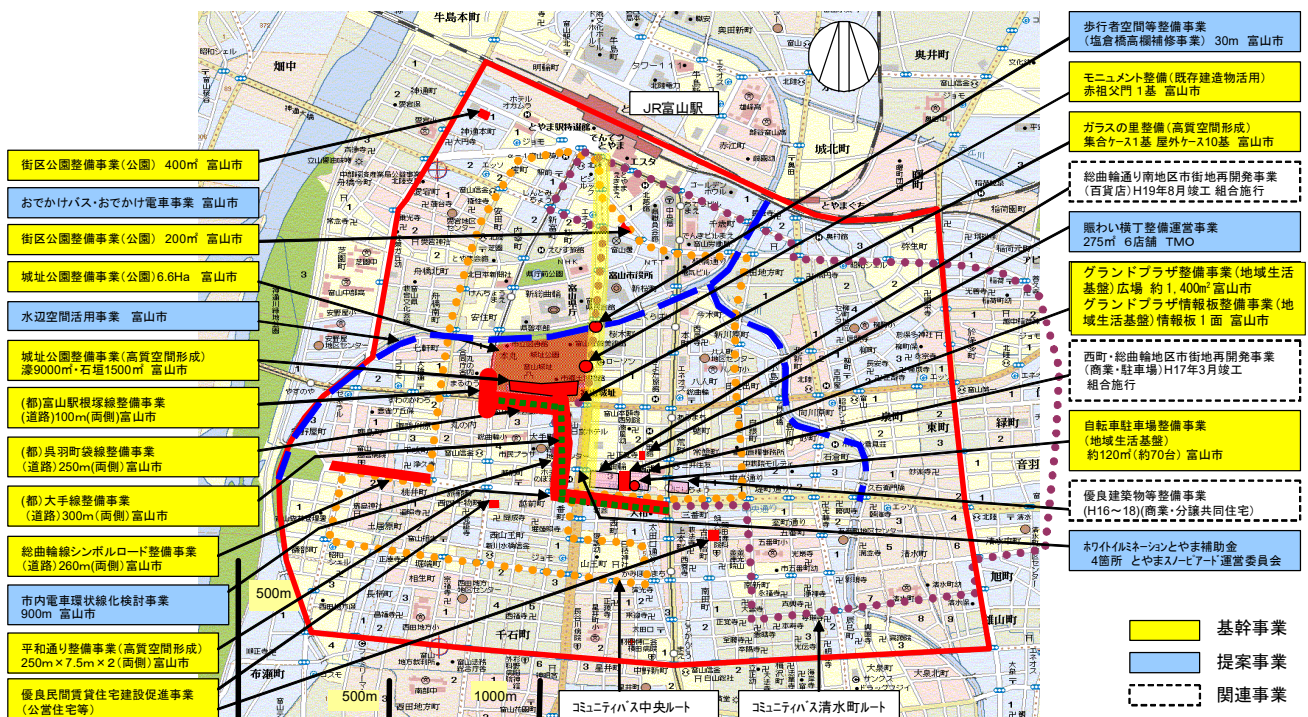
**指標** 魅力ある中心市街地の形成は、来街者を増加させ、商店街の売り上げ増に寄与するため目標に設定した。

歩行者通行量	9,205(H15)	→	11,046(H20)
対象地区の小売金額	947(H14)	→	1,042(H19)
コミュニティバスの利用者数	210,015(H15)	→	252,018(H20)

**事業内容** 基幹事業 (4,188 百万円) → 道路 (W=27m~36m、L=890m)、城址公園 (6.6ha)他 2 地区、グランドプラザ (1,400 m<sup>2</sup>) 関係整備、外国語表示観光案内板、自転車駐車場 (1 箇所)、平和通り整備 (延長 250m)、城址公園 (石垣、濠)、ガラスの里整備、公営住宅等整備 (2 箇所) 等

提案事業 (1,707 百万円) → おでかけバス・電車事業、タウンモビリティ、郷土博物館整備事業、都心居住推進事業、市内電車環状線化検討、賑わい横丁運営事業 等

完了地区 富山県



## 地区の現況と課題

中心市街地の人口は、昭和40年ごろをピークに半減し、中心商店街の小売販売額もここ10年で半減するなど、中心市街地の衰退は著しいものがある。

また、平成26年度末ごろには北陸新幹線の開通が見込まれ、魅力ある中心市街地の再生が喫緊の課題となっている。

## 提案事業の特徴

### おでかけバス・電車事業

市内の全路線のバス停から中心市街地街へ出かける場合、1回あたりの乗車料金を100円とする。また、電車についても不二越上滝線の各駅を対象として、市内のどの駅からも1乗車200円とする。

### 郷土博物館整備事業

城址公園内にある郷土博物館をリニューアル。

### タウンモビリティ試行運行事業

中心商店街における来街者の回遊性の確保と滞留時間の延長を目的とした電動スクーターの導入実験を行った。

### 都心居住推進事業

対象地区内の住宅取得支援、家賃助成、共同住宅建設支援等を行う。

### 市内電車環状線化検討事業

都心地区全体の回遊性強化のため、市内電車環状線化の検討を行う。

### 賑わい横丁整備運営事業

市民のニーズが高い飲食店で構成する「横丁」を整備運営し、賑わい拠点を創出し、中心市街地の活性化を図る。

## 計画策定プロセス

### 街なか創造会議の開催

平成15年度に中心商店街関係者、TMO、行政等で組織された街なか創造会議を開催し、再開発をきっかけとした中心商業地全体のまちづくりのあり方について検討を行い都市再生整備計画の策定に反映した。

### 各種検討委員会の開催

グランドプラザ整備、城址公園整備等、施設整備に際しては、基本計画の段階より市民、関係者、行政等で組織される検討委員会等を設置し、施設整備についての検討を行っている。



中心商店街の現状



グランドプラザ



城址公園



賑わい横丁